

大学教育入門セミナーの 現状と課題

大学教育入門セミナー部会長 岡P 英一

大学教育入門セミナーは、平成11年に、旧福井大学の共通教育改革の一環として設けられました。以来、大学教育入門セミナーは、文京地区で学ぶ教育地域科学部及び工学部の学生にとって2単位の必修科目となっています。

大学教育入門セミナーの目的として、まず第1に、「高校から大学への勉学方法の転換を助け、大学生活を健康かつ有意義に過ごすことのできるよう、学生諸君が自ら考え行動するためのヒントを与える」ことがあげられます。大学の講義は高校までの授業と異なり、自主的・自律的に取り組む必要があります。この点で、新入生にはまず意識の改革をしていただく必要があります。また「健康かつ有意義」な大学生活を送るに当たって、知っておくべきこと、あるいは知っておいた方がよいことがあります。これらについては、それぞれアクセスポイントがあり、そこに行けば必要な情報は手に入れられるのですが、1年生の方に、それを「自主的に行え」といってもなかなか難しいかもしれません。大学教育入門セミナーでは、まずこれらについて、文京地区で学ぶ教育地域科学部及び工学部の全ての学生を対象にして、共通講義ということで、学んでいただくことになっています。

本年度の「共通講義」は、

- ①学長等講話「カオスの時代を生きる」
- ②「よりよい学生生活のために－附属図書館・総合情報処理センターの利用法」
- ③共通教育センター長講話「共通教育の目的」、「よりよい学生生活のために－賢くらし、安全な生活、環境マネジメント」
- ④「こころの健康」
- ⑤「学生生活と健康管理」
- ⑥各学部長講話「学部の理念・目的」、「よりよい学生生活のために－ボランティアと自己、ハラスメント」

の合計6回行われました。いずれも、今後4年間に福井大学で「健康かつ有意義」な大学生活を送るにあたって、最低限必要な心構えや知識を伝えるものです。これらの講義を受講することにより、より良い学生生活を送られることを期待しています。

大学教育入門セミナーのもう一つの目的は、「大学生活の初期の段階で、所属する学部の課程・学科などの担当教員による指導を受け、自らの専門分野を自覚し、また、より広い視野をもって大学での勉学ができるようになること」

があげられています。これは1年生前期の段階で、各学科、課程・コース等ごとに、これから自分が学ぶ専門の分野の概要について知ってもらおうとするものです。そのために9回の「個別講義」が設けられています。個別講義の内容については、各学科、課程・コース等に委ねられ、それぞれの学科、課程・コースが独自にメニューを作っています。学科ごとに合宿するところもあれば、大学の講義を受けるに当たって必要な予備知識について通常の講義形式で行うところもあり、各学科、課程・コースでそれぞれ工夫がなされています。個別講義を受講することで、自分が今後学ぶであろう専門分野について、専門家である各学科、課程・コースの担任教員から手ほどきを受け、あらためてその志望動機を確認し、専門分野に対してより深い理解を持つことを期待しています。

大学教育入門セミナーのように、新入生に対して特別に科目を設けて、高校までの教育と大学での教育をつなぐことの必要性は、現在、重要視されており、他の大学でも取り入れられています。その点で、このような平成11年の段階で必要性を認識し、しかも当時の新入学生(旧福井大学)のすべてに対して必修科目として課していたことは、福井大学の先見性を示すものでもあり、大学教育入門セミナーの導入に努力され、またこれまで授業の運営に努力されてきた全ての教員に、あらためて敬意を表するものです。

大学教育入門セミナーは今年で9回目ですが、卒業生等からの話を聞いても、それなりに効果を果たしてきたものと考えています。しかし、ここで幾つか考えておくべきことを指摘したいと思います。まず、セミナーの共通講義は当初5回でしたが、これが平成17年から6回になりました。これは保健管理センターの講話等、幾つかのメニューを増やしたことにともなうものです。そのために、個別講義を1回減らしてその分を共通講義に当てることにしました。しかし、それでも共通講義は、短い時間に数多くの講話等があり、いささか「駆け足」であるとの印象を否めません。「せっかく役立つ内容なのだから、もう少しゆっくり聞きたかった」等の声を耳にします。共通講義の時間と内容について、検討の余地があるかもしれません。個別講義について、多くの学科、課程・コースでは、当初の目的からみてもうまくいっていると思います。しかし9回目を迎え、本来の目的に本当に役立つものになっているのか、9回の講義ノルマを果たすだけになってはいないのか、という点について、もう一度見直す必要があるかもしれません。

これらの点について、今年度行われる予定の「共通教育に関するアンケート調査」等の結果等を参考にして、今後考えていきたいと思っています。そして来年度以降、大学教育入門セミナーの内容をより充実させることにより、福井大学の学生に、より良い大学生活を送ってもらえるようにしたいと考えています。